

第70回滋賀県中学校夏季総合体育大会

バレーボール競技実施要項

1. 主催 滋賀県中学校体育連盟
2. 主管 滋賀県中学校体育連盟バレーボール専門部
3. 期 日 男 女 2017年7月27日(木)・28日(金)
- 開 館 8:30 開 始 式 9:15

4. 会 場 <第1日>
男 子 守山市民体育館 2面
女 子 野洲市総合体育館 4面
- <第2日>
男 女 守山市民体育館 2面

5. 競技規則 2017年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則に準ずる。
注1. ネットの高さは、男子2m30cm・女子2m15cmとする。
注2. 試合球は、検定4号球人工皮革カラーボールを採用する。
6. 競技方法 試合は全て3セット・マッチとし、単純トーナメント方式とする。

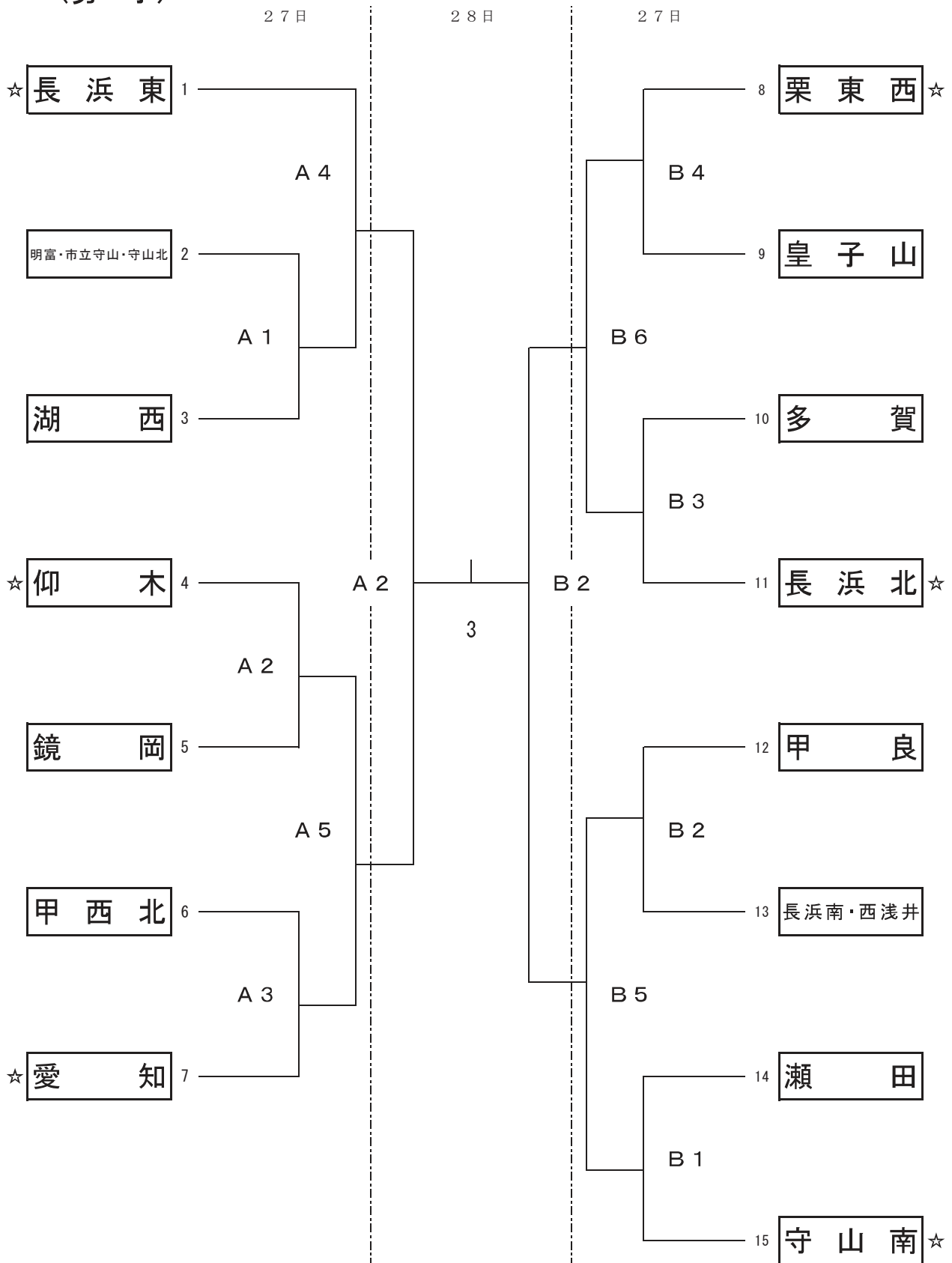
7. チーム 各ブロック代表チーム数は下表の通りとする。(ブロック推薦を含む)

男 子	推 薦	湖 西		湖 南			湖 東		湖 北		計
	2	4		3			3		3		15
女 子	推 薦	1	2	3 A	3 B	4	5	6	7	8	計
	2	2	4	2	3	2	2	4	2	3	26

8. エントリー 監督・コーチ・マネージャー各1名・選手12名以内と部長1名。ただし、申し込みは選手18名とし、試合毎に12名のエントリーとする。
(監督・コーチ・マネージャーは当該校の教職員であること。マネージャーは当該校の生徒でもよい。なお、コーチが当該校教職員以外の場合は、校長の承認を得たうえで中体連バレーボール専門部部長宛『コーチ確認書』を提出し、認められた者であること。部長はその学校の校長もしくは教頭であること。)
なお、申し込み選手18名の変更は認められない。
9. 合同チーム 『滋賀県中学校総合体育大会合同チーム参加規定』の要件を満たし、所定の手続きをとったチームの参加を認める。
10. 申し込み 所定の用紙に必要事項を記入し、各ブロック責任者に申し込むこと。7月24日(月)13時00分までに夏季総体バレーボール専門部運営協議会の席上(甲南中学校)へ必着のこと。
11. 組合せ抽選 7月24日(月)13時00分より、甲南中学校で開催される運営協議会の席上で行う。
12. その他 参加チームはラインズジャッジならびに公式記録のできるよう、また指導者は審判のできるよう研修しておくこと。
本大会の1・2位チームは、第66回近畿中学校総合体育大会に推薦する。

バレーボール競技

(男子)

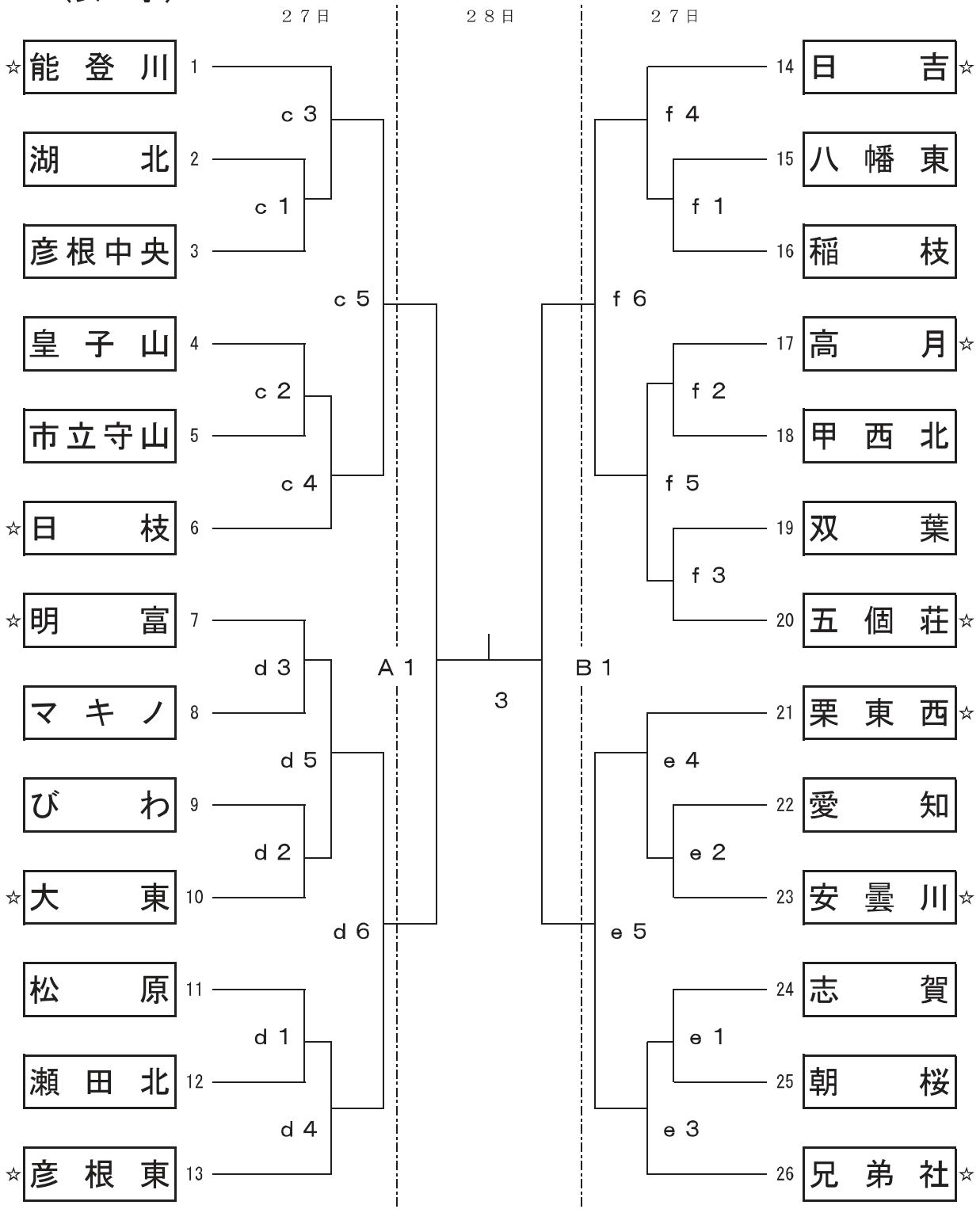


☆印：シード及び1位チームポジション

A・B：守山市民体育館

バレーボール競技

(女子)



☆印：シード及び1位チームポジション

A・B：守山市民体育館 c・d・e：野洲市総合体育館 f：野洲市総合体育館小アリーナ

大会日程

第70回 滋賀県中学校夏季総合体育大会 バレーボール競技

7月27日（木）

会 場 《男子》 守山市民体育館（2面）
《女子》 野洲市総合体育館（4面）

役員集合 8：00 開 館 8：30（開館後フリー）

開 始 式 9：15 競 技 開 始 開始式終了後10分間合同練習後、
その後プロトコールを行う。

7月28日（金）

会 場 守山市民体育館（男女）

役員集合 8：30 開 館 9：00

朝 練 習 9：10～（女子の該当チームのみ20分間）

女子準決勝 9：45～（2面同時スタート）

男子準決勝 11：15以降（2面同時スタート）

- ・女子準決勝が2試合とも終了し、ネット調整が終了した時点より20分後、かつ11時04分以降にプロトコールを行う。
- ・2面のネット調整終了後、該当2チームずつによる20分間の合同練習とする。
- ・なお、女子準決勝が早く終了したコートにおいては、ネット調整終了後、男子4チームのパスのみの練習を認める。

決 勝 13：00以降（2面同時スタート）

- ・女子決勝は、男子準決勝が早く終了したコートで行う。
- ・男子準決勝が2試合とも終了し、ネット調整が終了した時点より20分後、かつ12時49分以降にプロトコールを行う。
- ・ネット調整終了後、該当2チームずつによる20分間の合同練習とする。
- ・なお、男子準決勝が早く終了したコートにおいては、ネット調整終了後、女子2チームのパスのみの練習を認める。

閉 会 式 15：00～（予定）

- ・全試合終了後、2日目出場チームで行う。

式典次第

開始式

日時 2017年7月27日(木) 9:15~

会場 男子 守山市民体育館
女子 野洲市総合体育館

1. 開式通告
2. 開会宣言
3. 優勝旗返還
4. あいさつ
5. 選手宣誓
6. 閉式通告
7. 諸連絡

閉会式

日時 2017年7月28日(金) 15:00~(予定)

会場 男女 守山市民体育館

1. 開式通告
2. 成績発表
3. 表彰
4. あいさつ
5. 推薦の言葉
6. 閉会宣言
7. 閉会通告

競 技 上 の 注 意 事 項

1. 本大会は、2017年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。
ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。
2. 競技方法は、単純トーナメント方式とする。試合は、3セットマッチとし、3位決定戦は行わない。
3. 申し込み選手（18名）はユニフォーム姿で開始式に全員参加すること。ただし、ユニフォームが全て揃っていない場合はその限りではない。また、閉会式はユニフォーム姿で13名の参加とする
4. 参加申込書に記載した監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は認められない。ただし、申込書の選手18名の中から12名を試合毎にエントリーするものとする。原則として競技者番号の変更は認めない。ただし、ユニフォームが欠番している時、当事者のみ番号変更は認める。登録は構成メンバー票の提出で代替することとする。
5. 公式練習時間は6分間とする。申し出のあった場合は、各チーム3分間とする。試合前の公式練習に際しても、有効な構成員以外の者がフロアおよびコートに入ることを禁止する。ただし、合同練習では、安全確保のため、有効な構成員以外の者がフロアおよびコート内に入り、練習を補助することを認める。A、Bコートの間は使用しない。
6. 合同練習は、1日目は第1試合のみ10分、それ以降は前試合終了後5分間の合同練習（パス程度）とする。2日目は20分の合同練習とする。
7. 試合が連続した場合、前試合が2セットで終了の場合は10分以内、3セットで終了の場合は15分以内の休憩をとる。なお、その間はパス程度の練習を認める。（合同練習は、この時間に含まない。） ※2日目については、役員の指示に従う。
8. 審判員・生徒役員の分担は、大会役員の指示に従うこと。第1日目の第1試合については、第3試合のチームが行うものとする。第2試合以降については、前試合の敗者チームが行うものとする。
9. セット間・タイムアウト中に、次試合のチームはコート内およびフリーゾーンで練習を行わないこと。（コートサイドの待機も認めない。）
10. 今大会はWTOを適応する。
11. 大会参加者は、言動等についてふさわしいマナーを守ること。
12. 監督、コーチ、マネージャーの短パン・ハーフパンツ・ランニングシャツ・Tシャツでのベンチ入りは禁止とし、統一された服装とする。ただし、マネージャーが生徒の場合は除く。また、鳴り物・うちわ・メガホンのベンチへの持ち込みを禁止する。
13. 選手のソックスはくるぶしの隠れるものを着用すること。
14. 本大会の1・2位チームは、第66回近畿中学校総合体育大会に推薦する。

審判上の確認事項

1. 本大会は、2017年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。
2. 監督はプロトコール前、キャプテンはトス終了後、記録用紙にサインを済ませる。
3. ウォーム・アップ・ゾーンを設ける。但し、ゾーン内でのボールの使用は禁止する。
4. セット間はフリーゾーンでボールを使用してもよいが、隣のコート邪魔にならないように、パス程度のものとする。
5. 役員、相手チームのプレイヤーはもちろん、自チームのプレイヤーに対しても粗暴な行為や人格を損なうような言動は、慎まなければならない。
6. スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズ等）
7. 試合中、ボールの交換を要求する場合、選手が主審または副審に申し出ること。
8. ワンボールシステムで試合を行うので、デッドになったボールの処理は速やかに行うこと。
9. タイムアウトは、ベンチから立ち上がってコールしながらハンドシグナルを明確に示して要求すること。
10. モップでのワイピングについてはタイムアウト中、セット間に自チームで行うこと。ただし、主審・副審が危険であると判断した場合はモップを入れてワイピングする。
11. ワイピングは、コート内の選手が、自分の持っているハンドタオル等を用いて速やかに行うこと。また、12名の構成メンバーの中から1名のクイックモップパーを置くことができる。
12. 構成メンバーは最大12名でリベロプレイヤーを含む。チームは、最大2名までのリベロプレイヤーを試合毎に登録できる。
13. 監督・コーチ・マネージャーは統一された服装とする。ただし、マネージャーが生徒の場合をのぞく。
14. プロトコールについて
 - ① ネット・コート点検
 - ② 記録席前で、キャプテントス
 - ③ 公式練習、ベンチメンバーの確認、ラインジャッジとのミーティング
 - ④ ラインジャッジは各ポジションに位置する
 - ⑤ エンドラインに整列（12名）、握手
 - ⑥ それぞれのチームは一度ベンチに戻り、その後スターティングプレイヤーはコートに入る。
 - ⑦ ゲーム開始
 - ⑧ ゲーム終了
 - ⑨ エンドラインに整列（12名）、握手、チームキャプテンはサインをする。解散。
15. リベロのリプレイメントは、一般と同様のルールを適用する。
16. 試合終了後、監督は審判（主・副）に握手をすることを励行する。

プロトコール（試合開始前・セット間及び試合終了後の手順）

《試合開始前》

試合前	チ ャ ム	主審・副審
	両審判のネット等のチェック時は、ネットを使用せずウォームアップをすることができる。	両審判は、ネットの高さ・張り具合・アンテナの位置やサイド・バンドの位置をチェックする。（スケールは副審が持つ。）
11分前	チーム・キャプテンは、トスのため記録席に行く。トスの後は、記録用紙にサインを行う。	主審は、副審を立ち会わせて記録席前でトスを行う。副審は、チーム・キャプテン、監督を記録席に導き、記録用紙にサインをさせる。
9分前	両チームが一緒か、または個別に公式ウォームアップを開始する。 ウォームアップはユニフォームで行う。 公式練習はエントリーメンバー以外は参加できない。	主審は、公式ウォームアップ開始を合図する。ボール、スコア・シート、ブザー、ユニフォームなどのゲームに必要な用具をチェックする。ライン・ジャッジと打ち合わせをする。副審は、公式ウォームアップの計時をする。
3分前	主審の合図で、公式ウォームアップを終了する。	主審は、公式ウォームアップ終了の合図をする。
2分前	主審の合図で、ネット付近で最初に両主将が握手をする。そして、チーム・メンバーが握手をする。それぞれのチームはベンチに戻る。	審判役員はそれぞれの定位置につく。副審は、サービス・ゾーンの近くに位置する。
1分前	主審の合図で、スターティング・プレイヤーは、コートに入る。	主審は、合図してプレイヤーをコート内に導き、副審、記録員はそれぞれライン・アップを照合する。（このときリベロはコートに入らない）そして、副審はボールを最初のサーバーに送る。
0分前		主審は、第1サービスへの吹笛を行う。

《セット間》

	セット終了後、コート上のプレイヤーはエンド・ライン上に整列する。主審の合図で向かって右側のサイド・ラインにそって進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチに入る。	主審は、チームがエンド・ラインに整列したら、コートを交替するよう吹笛とシグナルで合図する。
2分30秒後	副審の合図により、エンド・ライン上に並ぶことなく、ベンチより直接コートに入る。	副審は、記録員合図を受けて両チームにコートに入るよう合図する。直ちに、副審・記録員はライン・アップを照合する。

《試合終了後》

速やかに	主審の合図で、すべてのプレイヤーはエンド・ライン上に整列する。 主審の合図で、ネットに近づき相手チームと挨拶（握手）を交わす。チーム・キャプテンは、主・副審に感謝の握手をする。そして、記録用紙にサインをする。チームは直ちにベンチから去る。	両チームのチーム・キャプテンを伴って記録席に行き記録用紙への記入を完了させる。
------	--	---